



# 鳥取市総合教育センターだより

第1号 令和3年 5月18日発行

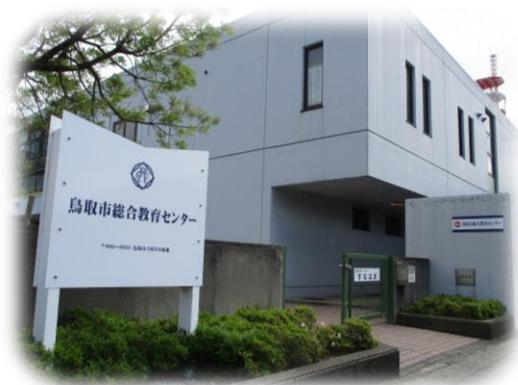
〒680-0053  
鳥取市寺町 150 番地  
TEL 0857-36-6060  
FAX 0857-26-3878  
E-mail  
[kyo-center@city.tottori.lg.jp](mailto:kyo-center@city.tottori.lg.jp)

## 新たなスタート「鳥取市総合教育センター」

所長 安田 直人

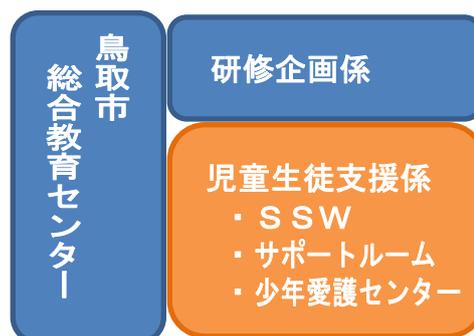
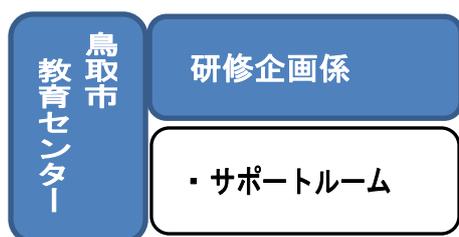
新緑が目に見鮮やかな季節となりました。各学校ではコロナ禍の中で新年度を迎えることとなり、感染症拡大防止策に苦慮されながらも、教育目標の実現に向けて、日々の教育活動をはじめ学校行事等を工夫して着実に前進されていることと思います。

さて、開設15年の節目となる本年度、「鳥取市教育センター」は組織改編により「鳥取市総合教育センター」として新たにスタートしました。引き続き県教育センターと連携しながら中核市として教職員研修を担い、「研修で学校が変わる」を合言葉に「学力向上」や「自己有用感の育成」につながる教職員研修を企画・運営します。オンラインやオンデマンドによる自校や分散会場での遠隔研修など、感染症対策やより効果的かつ効率的な研修のあり方等を踏まえた合理的な形態を検討したいと思います。また、GIGAスクール構想に係り、昨年度末までに1人1台端末や通信環境等を整備したところですが、「令和の日本型学校教育」へのサポートとして、利活用の基盤となるハード面の安定運用をめざします。



新たに編入となった児童生徒支援係には、少年愛護センターが加わりました。関係機関等との連携をより強化し、児童生徒1人ひとりの実態に即した相談・支援体制の充実・拡大を図ります。昨年「適応指導教室」から改称された「サポートルーム」は、「すなはま」「レインボー」に加えて、南部地域等へ対応するため「かわはら」を新設し、計3ルームの運営をとおして、不登校をはじめ学校生活に困り感をもつ児童生徒への支援の充実に努めます。

本年度も、所員一同、鳥取市教育振興基本計画の基本理念「ふるさとを思い 志をもつ人づくり」を進め、“夢と希望に満ちた次代”を“ひらく”！をめざして、学校・関係諸機関等と連携しながら取組を進めたいと思います。運営へのご理解・ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。



## 研修企画係

令和3年度スタッフ

岡田康子 谷口聡 松本晃 野口尚志 島崎輝夫 石谷健二郎 山本孝子

### 鳥取市教職員研修 ～研修で学校が変わる～

令和3年度、鳥取市総合教育センターでは一人一人の教育的ニーズに対応した教育を基盤として、「魅力」と「徹底」による学力向上、豊かなかかわりによる自己有用感の育成を見据えた教職員研修を実施していきます。

<研修目標>

- 1 児童生徒の自己有用感を高め、自治力のある集団づくりを通して児童生徒の自立をめざす。
- 2 ICT等を活用して、児童生徒の学ぶ意欲を高める授業づくりを通して、主体的・対話的で深い学びの実現をめざす。
- 3 鳥取市の全教職員が意欲をもち、協働して魅力ある学校・学級づくりに挑戦していく。



### Myアイデアを活かし、ベクトルをそろえた実践で 教師力アップ!学校力アップ!

先生方が研修で学ばれたことをもとに、学校運営に積極的に参画していただくことをめざして、**研修と学校をつなぐMyアイデアシート**を作成しました。

研修会は、自校や自己の現状把握のための「ウォーミングアップ」でスタートします。課題意識を明らかにして受講し、学校力アップのためのMyアイデアをふくらませて、各校に持ち帰ってください。

教職員研修ガイドのp6スタンダードモデルに「～あなたのアイデアが学校力アップの鍵～」としております。p7の「研修と学校をつなぐMyアイデアシート」に書き込みながら、学校力を高めていくために一人一人の先生方の力を発揮していただきたいと思ひます。



### 教職員研修アンケートについて

今後の教職員研修をよりよいものにしていくために、12月を目途に鳥取市総合教育センターで実施した教職員研修について、アンケート調査を行います。本年度は、Google Formsのアンケート機能を利用して、全教職員に実施対象を広げております。直接受講の機会がなかった先生方にも、受講された先生方から発信されたさまざまなアイデアやメッセージから受け取られたことをもとに、評価していただきたいと思ひます。

教職員研修ガイドp2の成果指標に記載しておりますように、対象者によって回答する項目を以下の3つに分けておたずねします。

- (1) 全教職員 (研修目標1と2)
- (2) 市主催教職員研修受講者 (研修目標1・2と3のMyアイデア)
- (3) 中堅教諭・6年目教諭 (研修目標1・2・3)

詳細は12月上旬にお知らせします。御協力をよろしくお願ひします。

中堅等資質向上研修①・6年目研修①  
令和3年4月20日(火)  
Web会議による遠隔研修(各校)

一人一人の自立を促すSEL-8Sの実際  
鳥根県立大学 准教授 山田 洋平 氏



新型コロナウイルス感染症の影響で、急遽所属校における遠隔研修になりましたが、SEL-8Sを活用して、子どもたちの社会性を育みたいという先生方の思いが膨らむ研修になりました。



# 令和3年度 努力点 不登校をはじめとする学校生活に困り感をもつ 児童生徒への支援の充実

## 1 新しい組織

今年度より鳥取市総合教育センターに名称が変わり、児童生徒支援係も新しい組織に変わりました。それぞれの役割や専門性をいかしながら密に連携をとり、児童生徒の多様性を受け止め、個々の実態に即した指導・支援及び関係機関等と連携した相談支援体制の充実・強化を図ってまいります。

### 【指導主事】

中澤達也 瀧井 夏 漆原真一

### 【スクールソーシャルワーカー (SSW)】

護田彰一 虎井良一 垣屋稲二良 倉本一弘  
岡本篤寛 石田明広 三木かおり 白鳥宏江

### 【教育指導員 (愛護センター)】

小谷拓司 長江昭彦 出井修一

### 【サポートルーム教育指導員・教育相談員】

岩本英子 難波 栄 橋口恵美子 国政教子  
松ノ谷博 渡辺雅子

## 2 令和2年度 鳥取市の不登校の状況について

下の表は令和2年度鳥取市小・中・義務教育学校の不登校児童生徒数の年間集計です。昨年度の不登校児童生徒数323人は過去5年間で最多でした。また、小学校の出現率は調査開始以来、初めて1%を超えました。

鳥取市小中学校不登校状況

(令和2年度年間)

	小学校・義務教育学校前期課程						中学校・義務教育学校後期課程			小学校 合計	中学校 合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年		
30日以上人数(人)	10	9	23	17	24	40	63	58	79	123	200
30日以上出現率	0.65%	0.60%	1.41%	1.14%	1.56%	2.62%	4.20%	3.85%	5.31%	1.28%	4.26%
20~29日の人数(人)	7	1	0	7	3	0	14	7	6	18	27
7~19日の人数(人)	0	1	3	6	5	5	26	22	20	20	68

令和2年度 教職員以外の支援の状況

(延べ人数)

校種	サポートルーム	児童福祉機関等	医療機関	カウンスラー	児童生徒相談員等	スクールソーシャルワーカー	フリースクール	IT等を活用した自宅学習支援	東部少年サポートセンター等 法務少年支援センター等 その他	特になし
小学校	28	35	67	57	7	25	5	0	7	7
中学校	9	40	74	63	28	10	16	7	8	40

令和2年度はスクールカウンセラーや医療機関、相談室等につなげているケースが増えていました。特にスクールカウンセラーについては相談の入り口になり、ここから各関係機関につながる事が多いです。

また、小学生のサポートルームの利用の増加と中学生の「特になし」の減少が特徴的でした。これは、各学校で支援についてしっかり協議され、関係機関等につなげられた状況がうかがえます。

不登校の要因は複合的なものが多く、その支援は多様かつ多岐に及びます。だからこそ、多職種での組織的な対応や関係機関との連携によって、より適切な支援につなげていくことが必要です。

不登校対策としては「未然防止」と不登校やその傾向にある児童生徒への「効果的な支援」が大切です。全児童生徒を対象にスクリーニングシートを活用したリスク把握は未然防止という観点でも有効です。

また、効果的な支援として、校内の相談室、校外のサポートルームやフリースクールなど、多様な学びの機会の確保が大切です。

児童生徒支援係では各学校や関係機関等と連携しながら相談支援体制の充実・強化を図ってまいります。